

新居・内山地区 地上デジタル放送受信実 態把握調査情報提供依頼書

湖西市 DX 推進課

令和 7 年 7 月

目次

第1章 総論.....	3
1.1 業務をとりまく背景および目的	3
1.1.1 背景	3
1.1.2 目的	3
1.1.3 本業務に関する課題	3
第2章 依頼事項.....	3
2.1 調査設計に関する資料.....	3
2.2 過去実績.....	4
2.3 見積書	4
第3章 提出・回答手続き	4
3.1 提出先・方法.....	4
3.2 提出期限.....	5
3.3 質問受付.....	5
第4章 その他	5

第 1 章 総論

1.1 業務をとりまく背景および目的

1.1.1 背景

新居・内山地区では、平成 24 年度に「辺地共聴施設整備事業」により設置されたギャップフィラー装置が、一部の難視聴地域のテレビ受信環境を支えてきた。しかし、当該装置はすでに耐用年数（10 年）を超えており、更新が必要な状況である。一方、近年の通信インフラの進展により、設置当時はサービス提供エリアに含まれていなかった光回線や CATV など代替的な受信手段も現実的選択肢として浮上しており、難視聴地域住民の受信環境の実態を正確に把握することが喫緊の課題となっている。

1.1.2 目的

本業務は、地上デジタル放送の視聴手段に関する現状把握と、光回線や CATV 等の代替手段への移行可能性に関する情報を収集し、今後の難視聴地域の受信環境の在り方や制度設計、予算措置のための基礎資料を得ることを目的とする。

1.1.3 本業務に関する課題

- 設置機器の老朽化による更新費用負担の増大
 - 光回線等の普及に伴う受信手段の多様化
 - 支援対象となる世帯の正確な把握の困難さ
 - 行政による目視等での現地調査の難易度
 - 周知・理解のための協力体制確保の課題
- るもの

第 2 章 依頼事項

以下 2.1～2.3 に関する情報を、可能な範囲でご提供ください。別添「仕様書（素案）」をご参照のうえ、必要に応じて補足・改善案を含めてご回答願います。

2.1 調査設計に関する資料

調査目的の定義

本調査で押さえるべき重点項目（例：受信レベル閾値、公平性評価など）

調査項目（質問票）ドラフト

住戸属性、アンテナ方向、視聴機器、受信状況などの聞き取り項目例

測定機器・プロトコル

使用機器（フィールド強度計など）、校正方法、測定手順書のサンプル

調査員教育・品質管理

事前研修プログラム、再現性チェック方法、エラー発生時の対応フロー

調査フロー図

調査員の動線から入力・アップロードまでの一連図

報告書構成（アウトプットサンプル）

サマリー、詳細解析、改善提案パートのフォーマット案

調査スケジュール案

各フェーズ（設計→実測→分析→報告）ごとのマイルストーン

2.2 過去実績

過去調査概要

- 結果サマリー
- 課題・改善点

2.3 見積書

- 要件定義、調査実施、データ集計・分析、報告書作成までの費用内訳
- 必要機材／機器リース費用（別途調達分を含む）
- オプション：追加サンプリング調査、住民向け説明会運営支援

> ※「見積書様式」をご利用のうえご提出ください。

第3章 提出・回答手続き

3.1 提出先・方法

- 提出先：湖西市 DX 推進課 DX 推進係（担当：岸大樹）
- 提出方法：電子メール（PDF／Excel／Word データ）

3.2 提出期限

- 令和 7 年 8 月 22 日（金）17:00 必着

3.3 質問受付

- 質問方法：メール（edp@city.kosai.lg.jp）
- 受付期間：令和 7 年 7 月 18 日（金）～8 月 18 日（月）

第 4 章 その他

- 本 RFI は契約締結を確約するものではありません。
- 提出資料は返却いたしません。
- 機密性の高い情報には「機密」マークを付与のうえご提出ください。
- 回答後、評価結果に応じて個別ヒアリングを実施する場合があります。